

平成25年度

教育委員会事務点検・評価報告書

平成26年5月29日

竹原市教育委員会

## 目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成25年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	5
4	平成25年度事業の点検及び評価	6
	(1) 学校・教育環境の充実	
	(2) 生涯学習の推進	
	(3) スポーツ・レクリエーションの振興	
	(4) 文化・芸術の振興	
	(5) 青少年健全育成の推進	
	(6) 人材育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	15
6	参考資料	17
	I 平成25年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	II 平成25年度 新体力テスト結果等	
	III 平成25年度 図書館・美術館利用状況等	

# 1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 平成25年度教育委員会議開催実績

教育委員会 開催年月日	開催回数 定例臨時別	議案 番号	件 名
H25. 4. 1	第3回 定例会	15	学校薬剤師の委嘱について
H25. 4. 25	第4回 定例会	16	竹原市スポーツ推進委員の委嘱について
		17	市立竹原書院図書館協議会委員の任命について
		18	竹原市立学校学校評議員の委嘱について
		19	竹原市結核対策委員会委員の委嘱について
		20	竹原市結核対策委員会設置要綱の一部を改正する訓令案
		報告 協議	学校施設の耐震化について
		報告 協議	小中一貫教育について
H25. 5. 23	第5回 定例会	21	竹原市特別支援教育相談委員会委員の委嘱について
		22	竹原市特別支援教育相談委員推進員の委嘱について
		23	竹原市教育相談員の委嘱について
		24	竹原市公民館運営審議会委員の委嘱について
		25	竹原市社会教育委員の委嘱について
		26	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について (平成25年度教育委員会関係補正予算案)
		27	平成24年度教育委員会事務点検・評価報告書案
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告	竹原小学校屋内運動場新築工事について
		報告	学校の適正配置について

H25. 6. 27	第 6 回 定例会	28	竹原市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		29	平成 2 5 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		報告 協議	小中一貫教育について
H25. 7. 25	第 7 回 定例会	30	竹原市文化財保護委員会委員の委嘱について
		31	たけはら美術館協議会委員の委嘱について
		報告 協議	小中一貫教育について
H25. 8. 22	第 8 回 定例会	32	平成 2 5 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		33	平成 2 6 年度使用特別支援学級用教科用図書の認定について
		34	吉名中学校区における小中一貫教育について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告 協議	竹原市におけるこれからの生涯学習の推進方策について
H25. 9. 26	第 9 回 定例会	35	平成 2 5 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告 協議	文化財指定にかかる竹原市文化財保護委員会委員の委嘱について
H25. 10. 24	第 1 0 回 定例会	36	平成 2 5 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		37	竹原市重要文化財の指定について
		報告 協議	小中一貫教育について
H25. 11. 21	第 1 1 回 定例会	38	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市学校設置条例の一部を改正する条例案）
		39	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 5 年度教育委員会関係補正予算案）
		報告 協議	小中一貫教育について
H25. 12. 19	第 1 2 回 定例会	報告 協議	小中一貫教育について
		現地 調査	忠海小中一貫校通学路調査

H26. 1. 23	第 1 回 定例会	1	竹原市教育委員会委員長の選挙について
		2	竹原市教育委員会委員長の職務代理者を指定することについて
		3	竹原市立学校等職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する告示案
H26. 2. 13	第 2 回 定例会	4	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 25 年度教育委員会関係補正予算案）
		5	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 26 年度教育委員会関係当初予算案）
		6	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市消防賞じゆつ金及び殉職者特別賞じゆつ金の授与に関する条例等を廃止する条例案）
		7	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例案）
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 3. 15	第 1 回 臨時会	報告 協議	諸般報告
H26. 3. 19	第 2 回 臨時会	8	平成 25 年度末・平成 26 年度始教職員の人事について
		9	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
H26. 3. 25	第 3 回 定例会	10	職員の任命その他の人事について
		11	竹原市立学校の学校医，学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則を廃止する規則案
		12	招致外国青年就業規則及び竹原市嘱託外国語指導助手設置規則の一部を改正する規則案
		13	竹原市いじめ防止基本方針の策定について
		14	竹原市立幼稚園長の委嘱について
		15	竹原市立公民館長の任命について
		16	竹原市立公民館主事の任命について
		17	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		報告 協議	小中一貫教育について

### 3 評価の方法

(1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、6つの項目に分けて記しています。

(2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

(3) 取組結果と自己評価

「取組結果」には、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを記し、「自己評価」は次の4点から総合的な評価を行っています。

① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

(4) 課題と平成26年度の取組方向

項目ごとに課題と平成26年度の取組方向を記しています。

(5) 評価委員による評価

3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。

# 平成25年度事業の点検及び評価

## (1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「情報される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
小・中学校施設耐震化事業 458,052千円	<p>【主要目標】 児童生徒が1日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、体育館新築工事（竹原小）、耐震補修工事（賀茂川中学校舎）及び校舎の耐震化に係る実施設計（大乗小校舎・竹原西小校舎・東野小校舎）を行う。</p>	<p>平成23年度に小・中学校施設全ての耐震診断が完了し耐震化計画を策定した。平成25年度は竹原小学校屋内運動場新築工事、賀茂川中学校校舎耐震補修工事及び校舎の耐震化に係る実施設計（大乗小校舎・竹原西小校舎・東野小校舎）を行った。平成27年度までに学校施設の耐震化を計画的に推進する。 （平成25年度耐震化率） 77.5%</p>	<p>大乗小校舎、竹原西小校舎（新館）、東野小校舎、中通小校舎、忠海中校舎、屋内運動場の耐震化工事及び大乗小屋内運動場、中通小屋内運動場、竹中屋内運動場の実施設計を行う。</p>
小・中学校施設改修事業 49,924千円	<p>【主要目標】 建築後30年以上経過した学校の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。</p> <p>【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール改修工事（竹原小）、校舎給水配管敷設工事（中通小）、体育館屋根防水工事（竹原西小）、エレベーター改修工事（竹原中）、キュービクル改修工事（竹原中）を行う。</p>	<p>学校施設の計画的な改修を図り、児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール改修工事（竹原小）、校舎給水配管敷設工事（中通小）、体育館屋根防水工事（竹原西小）、エレベーター改修工事（竹原中）、キュービクル改修工事（竹原中）を行った。</p>	<p>学校施設は、建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んでいる。児童生徒の安全な教育環境を確保するため、今後も計画的な改修を進めていく。学校からの修繕要望や各種法定検査により、指摘のあった事項については、迅速に対応する。</p>
小中一貫教育推進事業 21,742千円	<p>【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】 忠海中学校区、吉名中学校区において、施設一貫教育を推進するための準備委員会等を設置する。忠海中学校区に一体型小中一貫校を整備するため、基本設計・実施設計を行う。</p>	<p>忠海中学校区では一体型小中一貫教育校設立準備委員会を設置し、基本設計・実施設計について協議を決定した。 吉名中学校区においては、検討委員会での検討を終え一体型小中一貫校を吉名中学校に設置する方針を決定した。</p>	<p>忠海中学校区では平成27年度の小中一貫校整備工事を行う。 吉名中学校区では小中一貫校の設置場所について保護者から反対意見が出ているが、早急にPTA役員や自治会役員等との協議を行い、吉名中学校での一体型小中一貫校設立について理解を求め、基本設計・実施設計を行う。</p>
学校給食運営事業 77,140千円	<p>【主要目標】 市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する拠点として運営を行う。</p> <p>【事業内容】 平成21年度に学校給食センターを整備し、平成22年9月から民間委託による調理業務を開始した。平成24年度から市内14小中学校（約2千2百食）へ学校給食を提供している。</p>	<p>平成24年度から新たに3校の小学校がセンター化され、市内全小中学校に学校給食センターが給食を提供している。安全で安心な学校給食の提供に努めるとともに食育や地産地消の推進を図った。 民間委託による調理業務を継続し効率的な運営を図るとともに衛生管理やアレルギー食への対応を強化した。</p>	<p>安心安全な給食の提供および地産地消については一定の水準を達成していると考え、今後は多様化するアレルギー除去食や各校からの要望に対応するため、調理委託業者のノウハウを今以上に取り入れていく。また、地産地消の更なる拡大に向け、学校および市内関連部署やJA等民間企業との連携をより一層深めていきたい。</p>
食育推進事業 260千円	<p>【主要目標】 学校、地域及び行政が連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学びながら、食事の準備ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材選びなどの実践力を高める食育推進を図る。</p> <p>【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。</p>	<p>平成25年度食べるの大好き竹原っ子育成計画の具体目標の「中学卒業までに自分のお弁当を作れる子を生徒の100%に近づける」への取組と、学校給食で取り組んでいる地産地消に対する効果を見取るため、「地場産物を使用したお弁当調理コンテスト」を実施した。応募数は718作品（小学校446作品・中学校272作品）だった。 コンテストの入賞者の料理紹介と、自分のお弁当を作れる料理集として「自分てつくろくおべんとうレシピ」を配布した。</p>	<p>学校での食育推進については、各学校が特色のある取組をし、児童の生徒の興味関心も高まっているが、実践力を身につけさせるためには、より一層、家庭や地域を巻き込む取組を仕組む必要がある。 ただけは給食（仮称）を企業と連携して行う学校給食を教材とした食育推進を図る。また引き続き地場産物を使用した料理コンテストを実施する。</p>
竹原市私立幼稚園振興事業 2,800千円	<p>【主要目標】 幼児の発達段階に応じた指導と相互の交流を通じて、心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため一人ひとりに応じた幼稚園教育の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 私立幼稚園の管理及び運営の円滑かつ適正な幼稚園経営に資するため、市内の私立幼稚園設置者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p>	<p>市内の私立幼稚園設置者に対し、施設設備の購入又は設置に要する経費及び園運営上必要な人件費等に対し、国等の公共的団体からの補助を減じ、予算の範囲内でそれぞれ次のとおり補助金を交付した。 （補助額） 聖愛幼稚園 2,300千円・中央幼稚園 500千円</p>	<p>子ども子育て新制度の導入に向けて、竹原市子ども子育て会議において計画を策定する。私立幼稚園についても円滑に新制度に移行できるように国の動向を注視する。</p>



<p>外国語指導助手配置事業 12,655千円</p>	<p>【主要目標】 児童・生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。 【事業内容】 ALT (外国語指導助手) を3名雇用し、小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業で教員の補助をする。</p>	<p>市内14校に3名のALT (外国語指導助手) を配置し、外国語活動及び英語科の時間に活用した。各校と日程調整を綿密に行い、ALT をより効果的に活用するための取組を行った。また、コーディネーター業者と連携し、定期的にALT の評価を行いながら、ALT の育成にも力を入れた。</p>	<p>A 各学校において、ALT が十分に活用されているかどうかの実態把握が必要。特に中学校においての活用状況を確認し、更なる充実に向けた指導を考えていく。</p>
<p>小・中学校教育用ICT整備事業 20,884千円</p>	<p>【主要目標】 ICT機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実 【事業内容】 パソコン整備 (設置場所：パソコン教室) パソコン台数 小学校：259台、中学校：148台 電子黒板等ICT機器整備 (設置場所：普通教室ほか) 電子黒板台数 小学校：35台 中学校：20台</p>	<p>平成17年度からパソコン教室へ、児童・生徒用パソコンを整備している。さらに平成24年9月1日から5年間リースにより、電子黒板及び教材提示装置を小学校の5・6年教室へ1台ずつ、中学校の竹原中学校 (ICT 実装指定校) は全クラス及び理科教室へ、他の中学校は各校へ2台ずつ整備した。竹原小学校・中通小学校では企業と連携し、タブレットを活用した授業の実践検証を行った。 全校でICT機器を活用した教育を実践し、児童生徒の思考力・表現力の向上を図った。</p>	<p>A 電子黒板を活用した授業を全学年で実施するため、各校フロア1台ずつの設置を目標に整備計画を進めていく。(追加で13台必要) 児童生徒の情報活用能力の育成、各教科等の目標を達成するための効果的なICT機器の活用等により、学校教育の質の向上を実現させ、「竹原市学校教育ビジョン」を推進していく。そのために、竹原市におけるICTに関する推進計画を策定する。その推進者として、全小中学校に「ICT活用教育推進リーダー」を位置づけ、充実に図る。 また、今後パソコン教室の在り方についても検討していく。</p>
<p>竹原っこ夢プロジェクト事業 1,000千円</p>	<p>【主要目標】 児童・生徒が夢と希望を持ち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。 【事業内容】 児童・生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。 小学校2件、中学校1件を対象とする。</p>	<p>市内3小学校において、児童が将来に夢を持つとともにふるさと竹原に誇りを感じ、主体的に生きていくための力を育成した。 【起爆中学校】 文化祭に向けてステージ発表を計画するなかで、本物の演劇に触れ、演技力を高めたいという生徒の願いから、中学校3年生を中心に竹原市出身の劇団員から直接指導を受けることを計画した。 実際に指導者も一緒に演技をしながら指導をしていただき、文化祭にて「Dreamland of ALICE 〜道標のウサギ」を発表した。 【吉名小学校・中学校】 地元の菓子店に協力を依頼してじゃがいもスイーツを作成し販売するということを計画した。じゃがいもを児童生徒が生産し、生産したじゃがいもを地元の菓子店 (いちかわ菓子舗) と連携し、それをスイーツに加工し販売した。 販売に当たってはキャラクターを作成し、情宣し、そのキャラクターについては今後吉名小・中学校の統合に際してのキャラクターとして継続して使用する。企業の職員を講師として依頼し、販売の研修を積み、吉名地区よがすすのお〜祭りにて販売する等、生産から販売まで、児童生徒が中心となって取り組んだ。</p>	<p>A 内容は充実しているが、新たな視点の活用を図っていく必要がある。各学校が児童生徒の夢を育てていく指導を更に進めていくとともに、実現可能な夢について更に検討していく。</p>
<p>理科支援員等配置事業 700千円</p>	<p>【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。 【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業 (5・6年生) に活用し、観察・実験活動等において教員の支援や、効果的な実験等の展示や体験活動などを行う。</p>	<p>市内2小学校 (中通小学校・東野小学校) に理科観察実験補助員を配置し、各校年間25回 (1回について3時間の支援) の活用で、理科室の整備をはじめ、理科授業の充実・活性化を図ることができた。 児童アンケートの結果 ・結果を予想しながら実験するようになった。肯定的回答91% ・理科の授業がわかるようになった。肯定的回答93%</p>	<p>A 昨年度の児童のアンケート結果から、理科観察実験補助員の配置により理科への肯定的な意識を生み出す等効果が明らかとなった。今年度も市内2小学校 (竹原小学校・竹原西小学校) に配置し、理科授業の質の向上につなげていく。 今年度も各校の研究テーマをもとに、教育研究を推進していく。その研究成果を公開することによって、教職員同士が切磋琢磨し、研究内容の質の向上、教職員の授業力の向上をめざしていく。 また、ICTを効果的に活用し、思考力・表現力を育てる授業の確立に向けて、計画・要請</p>
<p>小学校公開授業研究会推進事業 1,808千円</p>	<p>【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。 【事業内容】 総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。 【実施校】 * 忠海東小学校 (10月24日)</p>	<p>市内10小学校すべてにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。 各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させるために、日程や方法を工夫しながら、一人一人の児童に確かな学力を育成するために取り組むことができた。昨年度までに、各校に整備した電子黒板等のICTを効果的に活用し授業改善に努めるとともに、児童の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	<p>A</p>

	<p>* 志海西小学校 (10月 2日)  * 大乗小学校 (10月11日)  * 竹原小学校 (10月16日)  * 中通小学校 (11月 1日)  * 竹原西小学校 (10月 4日)  * 東野小学校 ( 9月20日)  * 荘野小学校 ( 9月27日)  * 仁賀小学校 (10月22日)  * 吉名小学校 ( 9月25日)</p> <p>【主要目標】  中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】  基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施校】  * 志海中学校 (10月23日)  * 竹原中学校 (11月22日)  * 賀茂川中学校 (10月 9日)  * 吉名中学校 ( 9月27日)</p>	<p>市内4中学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、授業後の研究協議会を充実させるために、日程や方法等を工夫しながら、一人一人の生徒に確かな学力を育成するために取り組むことができた。昨年度、各校に整備した電子黒板等 ICT を効果的に活用し授業改善に努めるとともに、生徒の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	<p>今年度も各校の研究テーマをもとに、教育研究を推進していく。その研究成果を公開することによって、教職員同士が切磋琢磨し、研究内容の質の向上、教職員の授業力の向上をめざしていく。</p> <p>また、ICTを効果的に活用し、思考力・表現力を育てる授業の確立に向けて、計画・要請訪問を実施し指導助言を行う。</p>
<p>学校緑化推進事業</p> <p>799千円</p>	<p>【主要目標】  小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心に安らぎと潤いのある教育環境を創造するとともに、児童生徒への環境に対する関心を高める。</p> <p>【事業内容】  児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組を広げる。</p> <p>【実施校】  * 小・中学校全校</p>	<p>市内小・中学校で、創意工夫した学校緑化を進め、学校の美化や景観の向上を図った。各校の取組を11月の竹原市子ども文化祭においてパネルで発表した。学校からは、植物の世話をすることで、自然に対する関心が深まった。植物の世話が地域の方とのコミュニケーションのきっかけとなった。児童生徒の川柳や俳句に、体験を通じた喜びや驚きが素直に表現されるようになった。家庭部門では、市内小・中学校から204名の応募があった。外部の専門家から、1年々各学校や家庭での取組が進化しており、素晴らしいという講評をいただいた。</p>	<p>各学校や家庭で緑化活動に取り組むことが定着しつつある。植物を育てることを通じて豊かな児童生徒の育成をめざす。</p> <p>また、家庭における緑化活動を通して、家族のコミュニケーションを深めていくきっかけとなるよう働きかけていく。</p>
<p>幼稚園教育公開研究会推進事業</p> <p>1,838千円</p>	<p>【主要目標】  幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】  基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育むため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施園】  * 大乗幼稚園 (10月18日)  * 竹原西幼稚園 (10月10日)</p> <p>【主要目標】  児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組みを明らかにする。</p> <p>【事業内容】  標準学力調査を実施し、その結果を分析し学力向上を図る</p>	<p>市内2幼稚園において、これまでの教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。市内の学校の教職員はもとより、地域の方々、保護者の方々の多くの参加をいただき実施することができた。</p> <p>市内全小・中学校において(小学校1年生は除く)業者による学力テストを実施した。</p> <p>各校において調査結果の分析を行い、児童生徒の実態を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、他の学力調査等との比較を行い、より精度の高い分析を行いながら取組を進めることで、より効果的な取組を進めることが出来た。</p>	<p>地域の就学前教育の先進的役割を担い、その研究成果を広く普及させるために、今年度も公開研究会を開催する。また、幼小中学校合同研修会等を実施する。就学前教育の推進をめざす。</p>
<p>体力テスト事業</p> <p>437千円</p>	<p>【主要目標】  児童生徒の体力を分析し、課題と取組みを明らかにする。</p> <p>【事業内容】  全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図る。</p>	<p>市内全小・中学校において実施した新体力テストの結果を分析すると、小・中学校では、体格は概ね全国平均だが、やや下回っている。体力は、小学校において調査項目の90.7%で上回っていたが、中学校で上回っているのは調査項目の36.7%であった。小学校と比較して体力面の課題が見られる。種目</p>	<p>各学校において適切に活用されているが、活用方法について更に検討する必要がある。各学校での活用状況についても実態を把握しながら、更に充実した活用について検討を進める。</p> <p>竹原市のホームページへ各種学力検査での竹原市の結果を全国・広島県の結果とともに公表している。各校においては、結果を分析し、改善計画を立て公表し、計画的に授業改善を実施している。</p> <p>概ね適切に活用されているが、活用方法について更に検討する必要がある。特に中学校において、更に充実した活用について検討を進める。</p>

<p>総合的な学習等の推進事業</p> <p>1, 187千円</p>	<p>【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の授業を充実させる。</p> <p>【事業内容】 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。</p>	<p>による学校の格差もあり、継続して市内で意識を統一して課題解決に取り組む。</p> <p>年間計画に位置づけ、充実した総合的な学習の時間を進めるために、校外の講師の招聘を計画的に進め、地域の人材も活用することができた。児童生徒は、講師から様々な話を聞いたり、体験をしたりすることができた。</p> <p>9年目をむかえた「職場体験学習」では、地域の約127事業所の協力により、約218名の4中学校の生徒が参加することができた。保護者・事業所・生徒の事後アンケートでは、9割以上の肯定的評価をいただいた。</p>	<p>地域の人材活用や職場体験について取り組みは安定してきたので更なるステップに進むことを検討する必要がある。</p>
<p>教育相談事業</p> <p>4, 053千円</p>	<p>【主要目標】 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、児童・生徒等の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。</p>	<p>教育相談室に1名の非常勤教育相談員を配置し、不登校をはじめとする教育問題について相談・支援を受けている。今年度は、生徒指導上の問題行動に係る相談もあり、生徒の立ち直り支援に向けての活動も行った。</p>	<p>今年度も継続して1名の非常勤教育相談員を配置する。児童・生徒のいじめや問題行動、不登校などの学校不適応、その他生徒指導上の諸問題に対して、直接的に心の働きかけ、児童・生徒が立ち直るきっかけとなる支援をしていく。</p>

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
<p>公民館運営事業</p> <p>17, 808千円</p>	<p>【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。</p> <p>【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ その他各種学級講座 5月～3月</li> <li>○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月</li> <li>○ 公民館役員研修等 《実施時期》 5月～3月</li> <li>○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月</li> <li>○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月</li> <li>○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月</li> <li>○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回</li> </ul>	<p>生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報提供を行っている。</p> <p>また、公民館職員の資質向上のため、毎年、研修を実施している。今年度は、公民館の事業の後に配布するアンケート作成の研修を行った。既存のアンケートを見直し、実際の事業を想定したアンケートを作成し、公民館で配布、結果を分析することで、学習プログラムの評価方法・改善方法を身につけることができた。</p>	<p>「知の循環型社会の構築」を目指し、昨年度、社会教育委員会から提出された各申「これからの生涯学習の推進方策について」を踏まえ、より良い生涯学習を推進する仕組みづくり・環境づくりについて検討していく。</p>
<p>成人式事業</p> <p>630千円</p>	<p>【主要目標】 新成人者をはじめ、新成人者前後を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者及び関係者（多くの市民）と共に祝福する。</p> <p>【事業内容】 ○ 式典（市長メッセージ、采責祝辞、新成人誓いの言葉） ○ アトラクション</p> <p>【開催時期】 平成26年 1月11日（土）</p> <p>【開催場所】 竹原市民館ホール</p>	<p>新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会が会議を重ねて「感謝」「自覚」「激励」を基軸に、成人者の心に残り続けるような成人式を実施した。「感謝」として家族への感謝の手紙・歌、「自覚」として募金活動、「激励」としてビデオレターを行い、大変好評であった。また、実行委員会でプログラムや竹林をデザインした写真撮影用看板などを作成し、これも大変好評であった。</p>	<p>実行委員会委員の公募については、自らの応募が少ないため、公募方法を検討する。これまでの実施効果を踏まえ、引き続き実行委員会形式で成人式を企画実施する。</p>
<p>自動車文庫事業</p> <p>996千円</p>	<p>【主要目標】 市立竹原書院図書館は、公立図書館として、全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため、困難的、時間的、その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するように努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実に努めている。平成16年度より、市内全保育所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。その他、市民への読書活動啓発として、</p>	<p>*37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回し本の貸出・返却・リクエスト受付などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車文庫（わかたけ号）に本を積載して市内を巡回し、貸出を行った。市内小学校巡回時には、別に補充し、多くの児童が本を借りることができるよう取り組んだ。</li> <li>・市立幼稚園・市内全保育所・小中学校・放課後児童クラブ・ふれあい館・ゆりかごへの団体貸出を実施した。（1団体1ヶ月50冊）</li> </ul>	<p>引き続き、自動車文庫事業を実施していくことで、直接図書館利用が困難な市民に、図書の提供ができるよう自動車文庫による図書の提供の拡大に努める。各町内を巡回しているが高齢化などによりステーションまで来ることができないことが課題である。市内4中学校にリクエストボックスを置いた</p>

<p>市内のイベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み語りを実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。</li> <li>○自動車文庫は約2,500冊(成人、児童向けを各50%)を積載して貸出・返却を行なう。</li> <li>○全保育所・小学校・中学校、高等学校及び放課後児童クラブへの団体貸出しの実施。(1団体1ヶ月50冊)</li> <li>○市内のイベント会場に、自動車文庫(わかたけ号)を乗り入れ、体験乗車・貸出・返却・読み語りを行う。</li> <li>○授業に必要な本を学校からの要望により、随時届ける。</li> </ul>	<p>・市内イベント(健康ふくし祭り・Jパワーふれあいデー)に参加し、自動車文庫(わかたけ号)による展示・貸出・返却・大型絵本の読み語りを行った。</p> <p>・学校からの問い合わせや要望により授業に必要な本を選書し提供した。</p>	<p>が利用者が伸びないので、今後貸出・返却・予約の方法について学校と連携をとり、対応を検討する。</p>
<p>新1年生ブックスタート事業</p> <p>240千円</p>	<p><b>【主要目標】</b></p> <p>読書に興味を持ち、持続的な読書習慣を家族とともに作り出す、一助となるよう一人ひとりに本を配布する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校新1年生に絵本『かがやいてる』を読書意欲の継続と向上を目的に読書カードと共に配布する。</li> <li>○1年間(平成26年2月末日まで)に多くの本を読んだ児童を表彰する。</li> </ul>	<p>A</p> <p>・小学校新1年生に『かがやいてる』をプレゼントした。同時に、読書カードを配布し、1年間に読んだ本をカードに書いてもらい、多くの本を読んだ児童12名を表彰した。読書冊数800冊を超えた児童もいた。</p>
<p>学校図書館支援事業</p> <p>160千円</p>	<p><b>【主要目標】</b></p> <p>児童生徒に愛され利用しやすい学校図書館をめざして改造・整備を行い、地域コーディネーター・図書館整備ボランティアの養成により学校教育を支援する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館支援ボランティアの研修会を開催する。</li> <li>○小学校2校について、行政・学校・地域が連携して学校図書館の環境改善に取り組む。</li> </ul>	<p>B</p> <p>・図書館整備ボランティアの活動により、日々整備が行なわれており、H25年度は竹原西小学校・吉名小学校の図書館整備を行った。</p> <p>・学校図書館支援ボランティアの研修も兼ねて吉名小学校に、童話作家村上いこさんを招き、児童生徒・保護者と共に話を聞き、本や物語への興味関心を深めた。</p>

(3) だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充

実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
<p>学校体育施設開放事業</p> <p>1,695千円</p>	<p><b>【主要目標】</b></p> <p>学校等の体育施設(屋内運動場・夜間照明・グラウンド)を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>学校体育施設(市内小中学校14校、忠海高等学校、竹原高等学校)へ管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>A</p> <p>学校開放施設16校(市内小中学校14校、高校2校)を利用状況に応じて、各90日から160日間開放し、地域の各種競技を通じて、健康増進、競技力の向上を図り、生涯スポーツの推進を図った。</p>	<p>学校と連携して、体育施設(屋内運動場・夜間照明・グラウンド)を開放することにより、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。</p>
<p>スポーツ推進委員活動事業</p> <p>477千円</p>	<p><b>【主要目標】</b></p> <p>スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。また、各種研修会・研究大会等に参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○竹原市スポーツ推進委員総会</li> <li>○尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会</li> <li>○尾三地区スポーツ推進委員研修大会</li> <li>○広島県スポーツ推進委員研究大会</li> <li>○広島県女性スポーツ推進委員研修会</li> <li>○広島県総合マナジメント研修会</li> <li>○広島県新任スポーツ推進委員研修会</li> </ul>	<p>B</p> <p>各種研修会等に参加するとともに、ロードレース大会など各種スポーツ大会の運営協力や、吉名町スポーツ振興会主催のスポーツ行事における体力テストの実施など、スポーツ振興に寄与した。</p> <p>チャレンジデーでは、スポーツ推進委員の助言により市が主催となり「たまゆらスタンプラリー」を実施した。</p>	<p>スポーツ推進委員が積極的に研修会や研究大会等に参加し、相互の情報交流や資質向上を図っていく。</p>

<p>各種体育大会・行事運営事業</p> <p>4, 986千円</p>	<p>○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言</p> <p>【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりと積極的に関与し、自己の健康保持増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市女性バレーボール大会</li> <li>○ 市民ハイキング</li> <li>○ 竹原市民体育大会</li> <li>○ 竹原駅伝競走大会</li> <li>○ 竹原ロードレース大会</li> <li>○ 芸南児童水泳大会</li> <li>○ 竹原市少年野球大会</li> <li>○ 竹原市少年サッカー大会</li> <li>○ 竹原市バレーボール講習会</li> <li>○ チャレンジデー</li> </ul>	<p>各年度および少年野球大会、芸南児童大会など青少年スポーツ活動育成事業や竹原ロードレースでは、14部門に589名が参加した。市外参加者も多く県内の恒例行事として定着している。</p> <p>また、市民体育大会も38回をかぞえ、12競技部門で健康保持増進や親睦が図られた。</p> <p>チャレンジデーでは、市が主催となり「たまたまからスタンプラリー」を実施し、約200名に参加いただき、健康づくりや地域活性化が図られた。</p>	<p>各種体育大会・行事を体育協会等の関係団体と連携実施し、スポーツ振興を図る。</p>
<p>体育施設管理維持事業</p> <p>5, 339千円</p>	<p>【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、市民の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p>【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド</li> <li>・体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル</li> <li>・多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ</li> <li>・テニスコート</li> <li>・トレーニングルーム</li> <li>○ 竹原市営相模場</li> <li>○ スポーツ広場……忠海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場</li> <li>○ 学校体育施設</li> <li>・グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス</li> <li>・屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー</li> </ul>	<p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド体育施設において、多目的グラウンドの放送設備修繕やシャワー室の給湯器取替などを行い、利用者の利便性の向上を図った。施設の管理については、指定管理者であるNPO法人バンブースポーツクラブにおいて、各種スポーツ教室・大会の実施や住民交流事業を開催し、体育・スポーツ振興を図った。</p> <p>また、小学校のグラウンド照明や初球ネットの修繕や田万里ボールのプールサイド補修を行い、施設の利用環境の向上を図った。</p>	<p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドなどの体育施設の適切な維持管理により、スポーツ環境の整備・充実に努める。</p>
<p>プロアスリートスポーツ教室事業</p> <p>242千円</p>	<p>【主要目標】 竹原市子どもたちがスポーツを通じて夢や目標を持ち、取り組むことにより競技力の向上と底辺拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の指導方法を学び、指導力の向上・育成につなげるとともに、競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。</p> <p>【事業内容】 NPO法人トップス広島島の協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 (NPO法人トップス広島島の加盟団体) サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエエストレッドスバークス</p>	<p>今回で3回目となるプロアスリート教室は、平成26年3月22日(日)にバンブー・ジョイ・ハイランドで中国電力陸上競技部による教室を開催し、63名の参加があり、陸上競技のジュニアスポーツ育成、指導者の質向上を図った。</p>	<p>NPO法人トップス広島島の協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を実施し、競技力の向上や人材育成に努める。</p>

(4) 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝え、はぐくむづくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進

施策・事業名

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
<p>文化財保存事業</p> <p>38,718千円</p>	<p>【主要目標】 伝統的建造物群保存地区、建造物、史跡、天然記念物、埋蔵文化財、美術工芸品、工芸技術、伝統的芸能など文化的価値を有する文化財の保存と新たな文化財の発掘に努め、文化的景観の整備と保存意識の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統的建造物群保存修理事業</li> <li>○ 市内指定文化財保存管理事業</li> <li>○ 遺跡発掘調査委託事業</li> <li>○ 伝統的建造物保存地区保存計画見直し事業</li> <li>○ 伝統行事助成事業</li> <li>○ 旧広島銀行跡地小公園整備事業</li> <li>○ その他文化財保存事業</li> </ul>	<p>○ 伝統的建造物群保存修理事業 ・三村家住宅(8,138千円)、山田家住宅(8,348千円)の保存修理・修景事業を実施</p> <p>○ 市内指定文化財保存管理事業 ・「田万里八幡神社当屋祭 オハケ神事」を市重要文化財に指定(指定年月日:平成25年10月24日)</p> <p>・指定文化財等は適切な管理を地域の文化財保護活動団体に委託により実施</p> <p>・文化4施設(森川邸・松坂邸・光本邸・歴史民俗資料館)は、指定管理者制度により活用を促進</p> <p>○ 遺跡発掘調査委託事業 ・開発行為に伴う試掘調査の実施 ・中田万里地区ほ場整備に伴う試掘調査の実施</p> <p>○ 伝統的建造物保存地区保存計画見直し事業 ・保存計画は地区住民の生活に直結することから、講演と地区住民、市民の意見を聞くワークショップ(3回)を実施。</p> <p>○ 伝統行事助成事業 ・無形民俗文化財「福田のししまい」保存会に対し備品購入補助(宝くじコミュニティ助成金250万円)を実施し、継承環境の充実を図った。</p> <p>○ 旧広島銀行跡地小公園整備事業 ・平成24年6月6日に歴史的風致維持向上計画が県内初の認定を受け、計画に基づき旧広島銀行竹原支店跡地を整備し、平成26年3月14日に「静寂の小庭」供用開始</p> <p>○ その他文化財保存事業 ・県内において創意と工夫による自主的な地域づくりで地域振興や地域活性化に顕著な功績があったと認められる団体に授与される「広島県いきいき地域づくり賞」を「竹原町並保存会」が受賞した。</p>	<p>○ 伝統的建造物群保存修理事業 ・三村家住宅、萬岡家住宅の保存修理・修景事業を実施する。</p> <p>○ 市内指定文化財保存管理事業 ・「田万里八幡神社当屋祭 オハケ神事」の文化財標柱を設置する。</p> <p>・「宿根の大桜」の市重要文化財指定を目指す。</p> <p>・「奉風館」・「復古館」の小修理について補助を行う。</p> <p>○ 遺跡発掘調査委託事業 ・開発行為に伴う試掘調査の実施</p> <p>・中田万里地区ほ場整備に伴う試掘調査の実施</p> <p>○ 伝統的建造物保存地区保存計画見直し事業 ・新保存計画の施策・記述調整を行う。</p> <p>○ その他文化財保存事業 ・竹原町並保存会が行う歴史的景観再現(提灯の復活)の取り組みについて、宝くじ助成金を活用し支援する。</p> <p>・古井家住宅の今後の保存・活用方針を検討する際の基礎資料とするため、調査を実施する(平成26~28年度)。</p>
<p>文化振興事業</p> <p>2,206千円</p>	<p>【主要目標】 竹原市文化団体連盟と竹原市芸術文化振興協議会で、竹原市総合文化祭を共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術展示会を同様で開催するなどして、芸術振興を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市総合文化祭開催</li> <li>○ 竹原市美術展開催</li> <li>○ 市内小中学校図画・書道展</li> <li>○ 美術展示会・コーラス発表会等開催</li> <li>○ 全国頼山陽吟詠大会</li> </ul>	<p>○ 竹原市総合文化祭 11月9日(土)~24日(日)</p> <p>○ 竹原市美術展 11月12日(火)~17日(日)</p> <p>○ 市内小中学校図画・書道展 11月19日(火)~24日(日)</p> <p>・総合文化祭と竹原市美術展の表彰式を同時に行うことで、来場者の増加につながった。</p> <p>・総合文化祭と典への参加人数の増加を図るため、文化団体連盟の各団体10名以上出席してもらうよう名簿の提出等を行った。</p> <p>・市美術展の出展数については、例年とおおりのもの、県美展では大賞や入賞者が多く出た。</p> <p>・小中図画書道展は大盛況であった。</p> <p>○ 美術展示会・コーラス発表会等開催 ・芸術文化活動支援事業については、前年度よりも多くの団体の活用があり、引き続き利用促進による芸術文化の振興を図る。</p> <p>○ 全国頼山陽吟詠大会 9月7・8日 ・全国から76団体約300名の愛吟家が参加した。また市内4校の小学6年生87人による大台吟では、1年かけて練習した成果を発揮した成果を称賛した。</p>	<p>竹原市文化団体連盟と竹原市芸術文化振興協議会で、竹原市総合文化祭を共催して開催するなど、文化活動の推進を図る。</p> <p>○ 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント事業 竹原市の文化芸術の発展・普及に寄与することを目的に事業を行う。 期間:6月~8月 会場:町並み保存地区及びその周辺 内容:芸大生等による作品の創作展示、市内小学生と創作交流、創造と芸術を楽しむワークショップ等</p>

常設展開催事業	<p>【主要目標】 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて池田勇人元首相の写真展示を開催する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所蔵品展「新収蔵品展Ⅰ・池田コレクション展」 会期：4月12日(金)～6月23日(日)</li> <li>○ 所蔵品展「新収蔵品展Ⅱ・池田コレクション展」 会期：9月6日(金)～10月4日(金)</li> <li>○ 所蔵品展「新収蔵品展Ⅲ・池田コレクション展」 会期：10月19日(土)～1月19日(日)</li> <li>○ 所蔵品展「新収蔵品展Ⅳ・池田コレクション展」 会期：1月31日(金)～4月20日(日)</li> </ul>	<p>・テーマ別に所蔵品を紹介した。 ・展示室を2つに区切り、池田コレクション展と新収蔵品展(H20～24に収蔵した広島ゆかりの作品)という形での展示を行った。 ・常設展での来館者数の増加につながらなかった。</p>	常設展での来館者数の増加と情報発信の充実に引き続き努めるとともに、展示のあり方についても検討していく。 フェイスブックや新聞などを活用した情報発信に引き続き努めるとともに、展示のあり方についても検討していく。
特別展開催事業	<p>【主要目標】 地域の芸術拠点として、当館を広く市民の皆様にご知ってもらうとともに、当館所蔵品とは趣の違う作品の展覧会を開催することにより、文化レベルの向上と芸術文化の振興を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「脳がビックリ! 錯覚・錯視ふしぎ体験館」 会期：7月20日(土)～9月1日(日) (関連イベント) ワークショップ(工作等)</li> </ul>	<p>・夏休み期間中に開催したこともあり、家族連れなど6,885人の来場があった。 ・体験型の「エイムズの部屋」や「ななめの部屋」などがあり、幅広い世代が楽しめる展覧会となった。 ・土日に文化創造ホールで、学芸員による錯覚・錯視の物作りワークショップを開催(計10回)し、相乗効果につなげた。</p>	美術館の枠を超えて、東京藝術大学生による竹原芸術イベントを町並み保存地区及び周辺部において実施し、竹原らしい芸術振興を行う。 同イベントと連携した特別展を同時開催する。
芸術体験事業	<p>【主要目標】 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 押し花カード作り</li> </ul>	<p>・押し花カード作りを行った。 ・押し花を活用して、クリスマスカード・年賀状等を手本に参加者は楽しく行っていた。</p>	学校と連携した芸術体験事業を実施することにより、文化芸術の普及に努める。

### (5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
竹原市青少年指導員設置事業 94千円	<p>【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われ易い場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関(団体)等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内巡回指導</li> <li>○ 学校・警察関係機関(団体)等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。</li> </ul> <p>【実施時期】 7月～3月</p>	<p>7月17日に少年補導協働員との合同研修会を実施し、竹原警察署から「青少年の非行について」の実態を聞いた後、地域別連携を行った。 各中学校区のグループで日程を調整し、各地区の少年補導協働員と連携、協力し公園その他青少年の問題行動が行われ易い場所を巡回し、問題の早期発見、適切な指導を行い青少年の健全育成を図った。</p>	引き続き、警察及び少年補導協働員と連携のもと、地域の巡回による青少年の問題行動の早期発見や状況把握を行い、青少年の健全育成を図る。
子ども会育成事業 182千円	<p>【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自己びに、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月</li> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 2月</li> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月</li> </ul>	<p>6月22日総会 5月23日・12月19日理事会実施 竹原市子ども会育成連合会大会「子ども創作大会」を2月15日に実施した。 広島大学の学生に講師を依頼し、手作りおもちゃ等の創作教室を行い、市内小学校1年生～6年生40名が参加した。集団作業により子どもたちの創造性を育て、相互の交流と協調性の育成を図れた。また保護者間の交流により地域の子どもの会での活性化を図れた。</p>	引き続き、竹原市子ども会育成連合会の活動について周知等を行い、子ども会活動の活性化を図る。

(6) 人材育成の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成26年度の取組方向
<p>学校教育における人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るため研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長による人材育成計画の作成と市教委との協議</li> <li>・指導主事による学校訪問指導</li> <li>・竹原市教育委員会主催の研修会の実施</li> </ul>	<p>校長が教職員の人材育成計画を作成し、これをもとに教育委員会とピアリングを実施した。</p> <p>指導主事による学校訪問指導を計画的に行い、各校の研究推進、授業改善に努めた。</p> <p>教職員の職務の向上を図るため、広島県主催の研修会への参加はもとより、下記の本市独自の研修を実施した。</p> <p>教頭研修(12回)、教務主任研修(3回)、生徒指導主事等研修(3回)、保健主事研修(2回)、研究主任研修(3回)、初任者研修(3回)、特別支援教育研修(2回)、道徳教育推進協議会研修(5回)、食育研修(2回)、理科担当者研修(1回)、ICT教育担当者研修(3回)、防災教育担当者研修(1回)等</p> <p>夏季休業中に行う、全教職員を対象にした教育研究大会の内容も徐々に充実してきている。</p> <p>6月に竹原中学校において、県と連携し、「親の力」をまなびあう学習プログラム」を活用した研修を実施した。(1回)</p> <p>公民館の館長・主事を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るため、学習プログラムに関する職員研修を実施した。(3回)</p> <p>図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かした。(7回)</p> <p>また、乳幼児への読み語りや小中学生に行うブックトークに伴う職員間の研修などを行い、図書館行事に対応できる人材の育成に努めた。</p> <p>文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、伝達協研修会、重伝建行政初任者会議に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>教職員の人材育成は質の高い教育の実現のため不可欠なものであり、教職員一人一人の能力や適性等に応じた研修を行っており、さらに研修時期や研修内容の工夫や充実が必要である。</p> <p>教職員一人一人のキャリアステージに応じて、時期を逸しない適正な研修の機会を与えていく。</p>
<p>生涯学習・社会教育における人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施</li> <li>・公民館職員研修の実施</li> <li>・図書館職員研修への参加、各種行事への参加</li> <li>・文化担当職員の研修への参加</li> </ul>	<p>6月に竹原中学校において、県と連携し、「親の力」をまなびあう学習プログラム」を活用した研修を実施した。(1回)</p> <p>公民館の館長・主事を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るため、学習プログラムに関する職員研修を実施した。(3回)</p> <p>図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かした。(7回)</p> <p>また、乳幼児への読み語りや小中学生に行うブックトークに伴う職員間の研修などを行い、図書館行事に対応できる人材の育成に努めた。</p> <p>文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、伝達協研修会、重伝建行政初任者会議に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>引き続き、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や交流促進につなげていく。</p>



## 5 評価委員の評価

【評価委員】	広島大学大学院名誉教授	岡 東 壽 隆
	元公立中学校校長	長谷川 文 明
	前竹原青年会議所理事長	遠 部 敦 也

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成26年5月19日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

### [小中一貫教育推進事業]

小中一貫教育については、保護者や地域住民の理解を得ながら進めてほしい。また、小中一貫教育の推進とあわせ、児童数の推移を見据えた学校の適正配置を計画的に進めることも集団教育の観点から必要である。

### [外国語指導助手配置事業]

東京オリンピックの開催等グローバルな視点を踏まえ、全国的に英語教育に力をいれることが予想される。特に小学校の英語教育のニーズが高まっており、3名の外国語指導助手をしっかりと活用し英語力の向上に努めてほしい。

### [小・中学校教育用ICT整備事業]

子どもたちが安全に安心してインターネットや携帯電話を使用できるよう、使い方についてのリテラシーを教育することが肝要である。また、学校でのICTの充実に努めるとともに家庭内におけるICT学習に対する意識の高揚に努めることも大切である。

### [理科支援員等配置事業]

国の補助制度が縮小しても事業を継続できていることは喜ばしい。子どもの理科離れが危惧されている現状において、理科に興味関心を持たせる効果的で大切な事業である。

### [学力検査事業]

学力検査の活用方法が関心事となっているが、全体的な活用とあわせ子どもの個の成長につながるよう活用してほしい。また、評価については、相対的評価で見るのではなく、課題の克服に活かしながら全体的な学力の向上に視点をおくべきである。

### [総合的な学習等の推進事業]

総合的な学習の時間では、子どもたちが自分の夢をどのように達成していくかという目標を持たせる事も必要である。そのためには、教科横断的な取組が非常に重要である。

[教育相談事業]

不登校の要因は家庭環境・学校での人間関係など多種多様であり、小学校低学年からその傾向がみられるため、早期の取組が重要である。そのためには、家庭・学校・教育委員会・相談機関が連携を密にすることが大切である。また、先生と子どものサポートに教育関係者はもちろんのこと、外部の人材を活用も検討してはどうか。

[公民館運営事業]

いろいろな年代の人が地域に気軽に集まることができる場所が少なくなっている。コミュニケーションの場や学習の場として公民館を有効に活用してほしい。

[常設展開催事業]

竹原市の観光客は増加しており、今後、新たに観光客の増加も見込めるので、美術館の常設展の入場者数を増やすためには、市内の民間も含めた他の施設と組み合わせた集客も必要ではないかと思う。

[人材育成事業]

様々な角度から、学校教育の充実を図るための人材育成が必要である。子どもたちを地域で支える環境づくりのため、地域における人材育成も大切である。

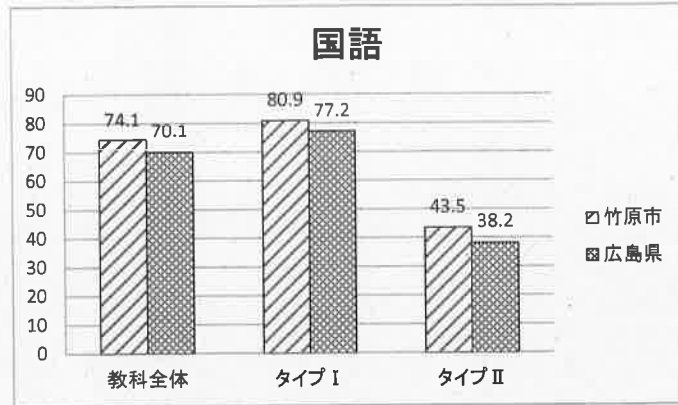
## 平成25年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果

平成25年度の調査結果は次の表のとおりです。市内各校は、それぞれの結果をもとに、改善計画を立て、一層の学力向上に取り組んでまいります。詳細につきましては、各校のホームページ等をご覧ください。実施日 平成25年6月11日(火)実施対象学年 小学校第5学年 中学校第2学年実施教科 小学校(国語・算数・理科) 中学校(国語・数学・理科・英語)

### 平成25年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【小学校】

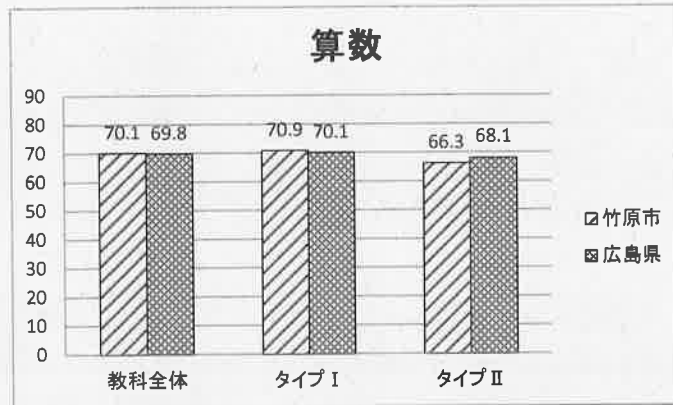
#### 国語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	74.1	80.9	43.5
広島県	70.1	77.2	38.2



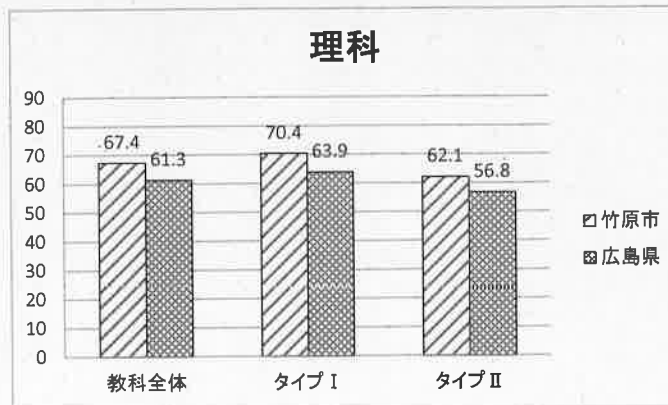
#### 算数

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	70.1	70.9	66.3
広島県	69.8	70.1	68.1



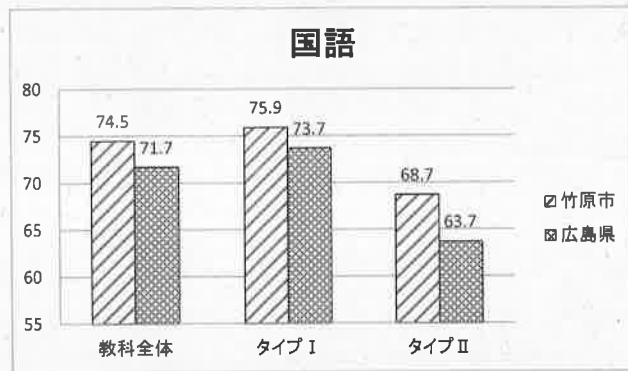
#### 理科

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	67.4	70.4	62.1
広島県	61.3	63.9	56.8

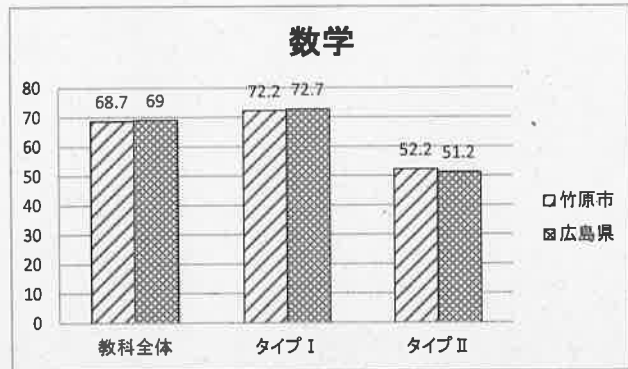


平成25年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【中学校】

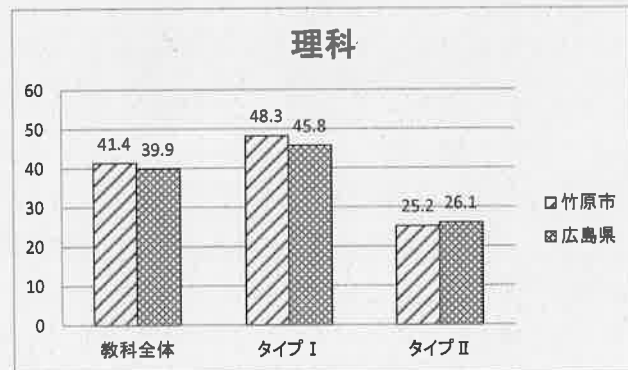
国語			
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	74.5	75.9	68.7
広島県	71.7	73.7	63.7



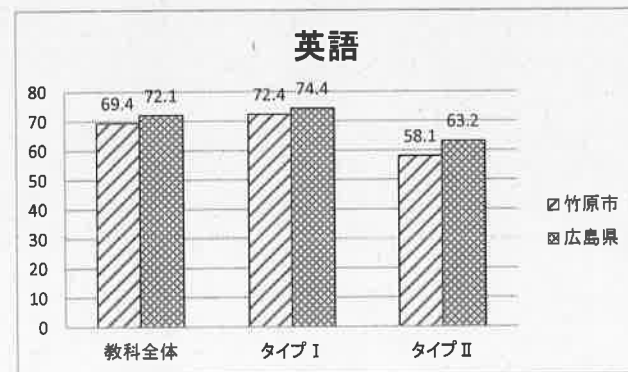
数学			
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	68.7	72.2	52.2
広島県	69.0	72.7	51.2



理科			
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	41.4	48.3	25.2
広島県	39.9	45.8	26.1



英語			
	教科全体	タイプ I	タイプ II
竹原市	69.4	72.4	58.1
広島県	72.1	74.4	63.2



参考資料2

平成25年度新体力テスト結果

小学校5年男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投
	(kg)	(回)	(回)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
H25竹原市	18.71	22.89	36.02	44.72	62.99	9.29	153.24	25.97
H24竹原市	19.50	21.83	36.23	43.92	52.79	9.23	153.08	26.75
H24広島県	16.56	20.91	32.99	43.56	55.64	9.25	155.08	25.50

小学校5年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投
	(kg)	(回)	(回)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
H25竹原市	17.72	21.35	40.99	42.05	48.55	9.53	154.33	17.27
H24竹原市	18.11	20.26	39.77	41.50	39.46	9.65	145.67	16.38
H24広島県	16.21	19.47	37.14	41.41	43.17	9.53	147.91	15.20

中学校2年男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)
H25竹原市	30.10	27.70	47.20	50.20	88.50	421.10	8.10	199.80	21.80
H24竹原市	31.60	30.50	48.30	54.60	85.10	390.40	7.80	199.20	22.40
H24広島県	29.90	28.70	44.20	53.10	85.50	391.00	7.90	197.80	21.40

中学校2年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)
H25竹原市	24.00	22.50	44.60	46.60	60.60	294.80	8.90	174.10	13.60
H24竹原市	25.00	23.40	49.70	48.80	62.40	290.90	8.80	173.60	14.40
H24広島県	23.90	23.90	46.30	47.10	57.60	296.90	8.80	170.00	13.40

H23～25生徒指導上の諸問題年次集計

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H23	0	0.0	245	1.6
小学校	H24	4	3.1	269	1.8
小学校	H25	4	3.2		
中学校	H23	14	18.6	971	13.4
中学校	H24	6	8.4	979	13.6
中学校	H25	11	7.3		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H23	1	0.7	231	1.5
小学校	H24	8	6.2	616	4.0
小学校	H25	5	4.0		
中学校	H23	10	13.3	215	3.0
中学校	H24	11	15.4	593	8.3
中学校	H25	4	2.7		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	H23	3	0.15	653	0.41
小学校	H24	2	0.15	616	0.39
小学校	H25	9	0.3		
中学校	H23	15	2.00	2252	2.74
中学校	H24	21	2.94	1989	2.45
中学校	H25	25	3.8		

参考資料 3

図書館・美術館利用状況

(1) 竹原書院図書館利用状況

本館・視聴覚ライブラリー開館日数 272 日

移動図書館車 96 日

平成 25 年度 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	13,392	—	13,392
	貸出者数	31,506	6,867	38,373
	貸出冊数	153,054	27,495	180,549
団体貸出	登録団体数	225	—	225
	貸出冊数	11,361	28,879	40,240
停本所	停本所数	11	—	11
	貸出冊数	15,083	—	15,083
貸出冊数合計		179,498	56,374	235,872

(2) 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	
年間開館日数		258 日	218 日	276 日	
展覧会件数		6 件	6 件	5 件	
総入場者数		10,176 人	12,652 人	10,024 人	
展覧会平均入場者数		1,696 人	2,109 人	2,005 人	
展 覧 会 入 場 者	1 日平均入場者数	39.4 人	58 人	36.3 人	
	常 設 展	件数	4 件	3 件	4 件
		開館日数	209 日	144 日	224 日
		入場者数	2,831 人	2,198 人	1,950 人
		1 日平均入場者数	13.5 人	15.3 人	8.7 人
		土日祝日平均入場者数	19.3 人	17.2 人	11.7 人
	企 画 展	件数	2 件	3 件	1 件
		開館日数	49 日	74 日	52 日
		入場者数	7,345 人	10,454 人	8,074 人
		1 日平均入場者数	149.9 人	141.3 人	155.3 人

文化創造ホール

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
利 用 日 数		150 日	178 日	191 日
展示会		85 日	108 日	119 日
文化講演・講座		4 日	4 日	3 日
演奏会等		1 日	2 日	0 日
参加型イベント		2 日	3 日	10 日
講習会等		29 日	32 日	11 日
展覧会等準備日数		29 日	29 日	48 日
利用件数		42 件	35 件	39 件
年間入場者数		16,725 人	16,632 人	12,000 人
1 日平均入場者数		111.5 人	93.4 人	62.8 人

たけはら美術館

平成 25 年度 年間利用者数

26,901 人 (昨年度比 - 2,383 人)